

波介川河口導流路の効果について

(平成24年6月台風4号)【速報値】

平成24年6月19日に接近した台風4号の降雨により、初運用を行いました、波介川河口導流路の水位低減効果についてお知らせします。

また、今回の結果については【速報値】ですので、数値については修正の可能性があります。

平成24年6月21日

国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所

※ この施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.6 防災向上プロジェクト】の取り組みに該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 高知河川国道事務所
高知市六泉寺町96-7 TEL 088-833-0111 (代)
FAX 088-833-5140

副所長
○調査課長

くまおか ひろつく
熊岡 博次 (内線204)
もりもと しゅうぞう
森本 修三 (内線351)

○：主な問い合わせ先

波介川河口導流路の初運用により波介川の水位を50cm低減【速報値】

- 仁淀川水系波介川では、昭和50年8月台風5号による豪雨災害を受け、波介川河口導流事業に着手し、本年6月より運用開始。
- 平成24年6月19日の台風4号により、土佐市家俊で総雨量85mmの降雨に見まわれ、波介水位観測所で20時00分にピーク水位約2.8mに達し、波介川導流路により波介水位観測所で約50cmの水位低減効果が発現された。

流域図



横断図(波介水位観測所)



【整備前】



【整備後】



波介川河口導流事業の概要①



波介川は、仁淀川の河口から2.0km付近に合流する右支川で、流域面積73.3km²、流路延長19.0kmの土佐市を貫流する一級河川です。



事業経緯

| 年月 | 項目 |
|---------|----------------------|
| 昭和42年 | 波介川河口導流事業 計画策定 |
| 昭和50年8月 | 台風5号により土佐市内約3,400戸浸水 |
| 昭和60年 | 波介川河口導流事業 事業着手 |
| 平成16年3月 | 波介川河口導流事業 工事着手 |
| 平成19年4月 | 波介川床上浸水対策特別緊急事業 採択 |
| 平成24年5月 | 波介川河口導流事業 通水式 |

事業費

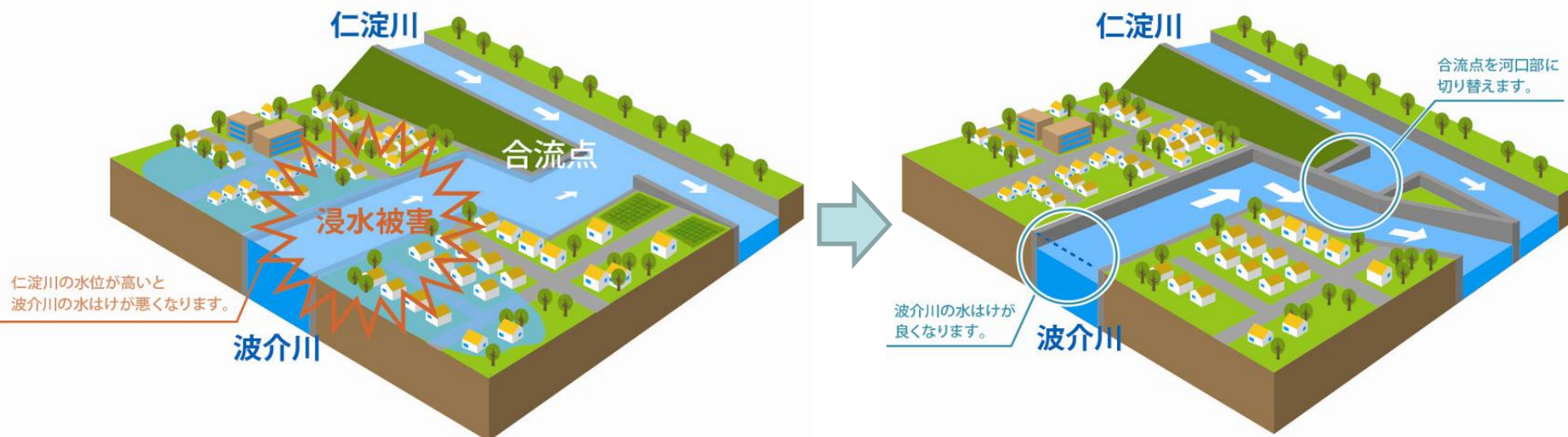
全体事業費 383億円
(うち床上特緊(H19~23) 161億円)

事業内容

事業延長 2,500m
河道掘削 150万m³
波介川樋門、十文字堰、波介川潮止堰

事業概要

波介川は上流へ行くほど地盤が低い低奥型の地形であることに加え、仁淀川本川の水位上昇による背水の影響により、土佐市中心部は幾多の水害に悩まされ続けてきました。波介川河口導流事業は、仁淀川と波介川との合流点(2k/0)を仁淀川河口に付け替え、波介川の洪水を流れやすくする事業です。



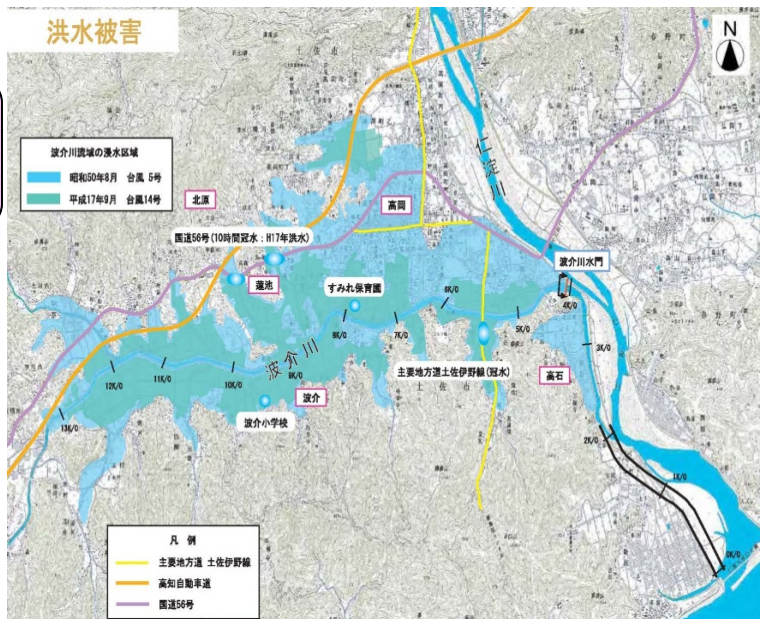
はげ 波介川河口導流事業の概要②

事業効果

波介川河口導流事業は、昭和50年8月洪水等を契機に事業がすすめられ、波介川河口導流事業を進めることにより、床上・床下浸水被害が大きく軽減されることとなります。



昭和50年8月台風5号(土佐市街地状況)



工事着手前(昭和62年12月撮影)



工事完了間近(平成24年3月撮影)

